

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
220331041	臨床医学Ⅱ Clinical Medicine Part II	服部悟			2	選択	3前期

科目の概要

管理栄養士の主な業務の一つとして傷病者に対する栄養の指導がある。DP2にあるように医療・介護をはじめとした様々な領域における栄養管理をするために、管理栄養士にとって重要な疾患（消化器系疾患、循環器系疾患、呼吸器系疾患、内分泌系疾患、運動器系疾患）の疾病概念、成因、病態、診断、治療などを理解する。この授業では、栄養士に必要な科学的根拠に基づいて判断する能力と自己学習能力とを身に着ける。併せて、建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力を習得して、職場と地域の人々と協働して課題を解決していくことができ、自立した社会人として常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献することができる力を育成することを目的とする。

学修内容	到達目標
① 主要疾患の疾病概念と成因（原因）を理解する。 ② 主要疾患の病態（自覚症状、他覚症状等）と診断を理解する。 ③ 主要疾患の治療方法を、栄養に重点を置いて理解する。	① 主要疾患の疾病概念と成因（原因）を説明できる。 ② 主要疾患の病態（自覚症状、他覚症状等）と診断を説明できる。 ③ 主要疾患の治療方法を、栄養に重点を置いて説明できるとともに知識を活用して新しい方法を提案できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	関連科目である解剖学や生理学、生化学について、事前学習（復習）をする。
	働きかけ力	
	実行力	主要疾患（約200）の疾患名と疾病概念の記憶に取り組むことができる。予習と復習で、能率よく自己学習を進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	疾患を学習することで、傷病者に対する栄養指導課題を見つけ出すことができる。
	計画力	予習と復習で、能率よく自己学習を進めることができる。
	創造力	インターネットなどで流布されている医療情報を確認し、信頼性を自分で判断できる。
チームで働く力	発信力	教員からの質問に、はっきりと大きな声で答えることができる。与えられた課題を、わかりやすい内容にまとめて提出できる。
	傾聴力	講義内容や相手の意見を丁寧に聞き取り、自分の意見を述べるができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、私語、居眠りなど講義に支障をきたす行動をせず、ルールを守ることができる。遠隔講義の時間割に従って、学修ができる。提出物の締切時間を守るができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：羽生大記・河手久弥編、臨床医学-人体の構造と機能及び疾病の成り立ち（南江堂）3,100円（＋税）
 関連する資料および復習問題のプリントを適宜配布する。

他科目との関連、資格との関連

解剖生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学Ⅰ、および解剖生理学実習Ⅰ・Ⅱの学修を基盤として、臨床医学Ⅰに続いて、臨床医学を学ぶ。臨床医学Ⅲ、臨床医学実習に繋がる。また、専門実践実習の基礎となり、臨床栄養学Ⅱ・Ⅲとも関連する。
 資格との関連：管理栄養士、栄養教諭

学修上の助言	受講生とのルール
①解剖学、生理学、生化学の知識は疾病を理解するうえでも必須である。それらを十分理解して授業に臨むとよい。 ②毎週の小テストが50%以下の正答率の場合は、すぐに復習を行うとよい。	①携帯電話の電源は切り、カバンにしまっておくこと。 ②テキストと配布したプリントは、毎時間持参する。 ③赤鉛筆または赤ボールペンを持参すること。 ④遠隔講義では、時間割や提出物の期限を守る。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	80	①	✓	主要疾患の疾病概念、成因、病態、治療等について理解し、栄養との関係を説明できる。 授業で学んだ内容の理解度を、客観式テストにより評価する。 知識の獲得：（疾患の病因・病態など）50%、 知識の活用：（疾患に伴う症状・検査所見・治療法など）30%、 知識の解決：（疾患に伴う生活への影響、栄養上の対処方法など）20% 以上の内容の筆記試験で60%以上の得点を合格とする。	
				②	✓		
				③	✓		
	平常評価	小テスト		10	①	✓	毎週の小テストは、授業中または終了時に、授業内容について客観式確認テストを行う。 以上により、主要疾患の疾病概念、成因、病態、治療等の基本的用語を理解できているか確認する。
					②	✓	
					③	✓	
		レポート		0	①		
					②		
					③		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		0	①				
			②				
			③				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓	（主体性）自ら知識を深める姿勢・行動がみられること （実行力）自己の学修目標を設定してその達成に努力すること。 （課題発見力）傷病者に対する栄養指導課題を見つけ出すこと。 （計画力）予習・復習で能率的に自己学習ができること。必要に応じて、解剖生理学の知識について予習テストを出題する。また、翌週までの間に、客観式復習テストを課す。 （創造力）インターネットなどで流布されている医療情報を確認し、信頼性を自分で判断できること。 （発信力）教員からの質問に、はっきりと大きな声で答えることができること。 （傾聴力）授業に集中し、内容を理解し、要点を記録できること。 （規律性）教室でのマナーを守り、質の高い学びの場にいること。	
				②	✓		
				③	✓		
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①主要疾患の疾病概念、成因、病態、治療等について正しく理解し説明できること。 ②主要疾患の疾病者に対する栄養指導との関係を説明できること。 S（秀）＝①＋②、A（優）＝①または②	①主要疾患の疾病概念を説明できること。 ②主要疾患の成因、病態、治療等の基本的用語を記述でき説明できること。 B（良）＝①＋②、C（可）＝①

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	○運動器系疾患1 骨粗鬆症、骨軟化症・くる病、変形性関節症の成因・病態・診断・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説(遠隔の場合はgoogle forms) ディスカッション 予習・復習テストと解説(google forms)	骨粗鬆症、骨軟化症・くる病、変形性関節症(OA)の病態について説明できる。	(予習) テキスト第11章A, B-1~3(骨粗鬆症、骨軟化症・くる病、変形性関節症)を確認すること。 (復習) 復習テスト・学期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
2	○運動器系疾患2 関節リウマチ、フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドロームの成因・病態・診断・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説(遠隔の場合はgoogle forms) ディスカッション 予習・復習テストと解説(google forms)	関節リウマチ(RA)、フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドロームの病態について説明できる。	(予習) テキスト第11章B-4~7(関節リウマチ、フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドローム)を確認すること。 (復習) 復習テスト・学期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
3	○循環器疾患：循環障害、高血圧・不整脈循環障害、動脈硬化、高血圧、不整脈の成因・病態・診断・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説(遠隔の場合はgoogle forms) ディスカッション 予習・復習テストと解説(google forms)	循環障害(虚血、充血、うっ血、血栓、塞栓)、動脈硬化、高血圧、不整脈の成因・病態について説明できる。	(予習) テキスト第6章A, B-1~4, 6(循環障害、動脈硬化、高血圧、不整脈)を確認すること。 (復習) 学期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
4	○循環器系の疾患：虚血性心疾患・心不全狭心症、冠攣縮性狭心症、心筋梗塞、心不全の成因・病態・診断・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説(遠隔の場合はgoogle forms) ディスカッション 予習・復習テストと解説(google forms)	狭心症、心筋梗塞、冠攣縮性狭心症、心不全の成因・病態について説明できる。	予習) テキスト第6章B-5, 8(虚血性心疾患、心不全)を確認すること。 (復習) 復習テスト・学期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
5	○循環器系の疾患：肺塞栓、脳血管障害肺塞栓、脳出血、くも膜下出血、脳梗塞、一過性脳虚血発作の成因・病態・診断・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説(遠隔の場合はgoogle forms) ディスカッション 予習・復習テストと解説(google forms)	肺塞栓、脳出血、くも膜下出血、脳梗塞、一過性脳虚血発作の成因・病態について説明できる。	(予習) テキスト第6章B7,9(肺塞栓、脳出血、くも膜下出血、脳梗塞、一過性脳虚血発作)を確認すること。 (復習) 復習テスト・学期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
6	○呼吸器疾患1 慢性閉塞性肺疾患(COPD)とアシドーシス・アルカローシスの成因・病態・診断・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説(遠隔の場合はgoogle forms) ディスカッション 予習・復習テストと解説(google forms)	慢性閉塞性肺疾患(COPD)の症状と検査、および、アシドーシス・アルカローシスの成因・病態について説明できる。	(予習) テキスト第10章A, B-1(慢性閉塞性肺疾患)を確認すること。 (復習) 復習テスト・学期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
7	○呼吸器疾患2 気管支喘息、肺炎の成因・病態・診断・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説(遠隔の場合はgoogle forms) ディスカッション 予習・復習テストと解説(google forms)	気管支喘息の病態と診断、および、肺炎の病態について説明できる。	(予習) テキスト第10章B-2, 3(気管支喘息、肺炎)を確認すること。 (復習) 復習テスト・学期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
8	○消化器疾患：消化管疾患1 消化管疾患(口内炎、胃食道逆流症、胃・十二指腸潰瘍、イレウス、便秘)の成因・病態・診断・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説(遠隔の場合はgoogle forms) ディスカッション 予習・復習テストと解説(google forms)	口内炎、胃食道逆流症、胃・十二指腸潰瘍、イレウス、便秘の病態について説明できる。	(予習) テキスト第5章A, B-1~3, 7, 8(口内炎、胃食道逆流症、胃・十二指腸潰瘍、便秘、イレウス)を確認すること。 (復習) 復習テスト・学期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	○消化器疾患：消化管疾患2 炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）の成因・病態・診断・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説（遠隔の場合はgoogle forms） ディスカッション 予習・復習テストと解説（google forms）	潰瘍性大腸炎、クローン病の病態・治療について説明できる。	（予習）テキスト第5章B-5（潰瘍性大腸炎、クローン病）を確認すること。 （復習）復習テスト・学期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
10	○消化器疾患：消化管疾患3 消化管疾患（たんぱく漏出性胃腸症、過敏性腸症候群、胆石症、胆嚢炎、膵炎）の成因・病態・診断・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説（遠隔の場合はgoogle forms） ディスカッション 予習・復習テストと解説（google forms）	たんぱく漏出性胃腸症、過敏性腸症候群、胆石症、胆嚢炎、膵炎について説明できる。	（予習）テキスト第5章B-4, 6, 12, 13（たんぱく漏出性胃腸症、過敏性腸症候群、胆石症、胆嚢炎、膵炎）を確認すること。 （復習）復習テスト・学期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
11	○消化器疾患：肝臓疾患 肝疾患（肝炎、肝硬変、脂肪肝、NAFLD、NASH）の成因・病態・診断・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説（遠隔の場合はgoogle forms） ディスカッション 予習・復習テストと解説（google forms）	肝炎、肝硬変、脂肪肝、NAFLD、NASHの成因・病態について説明できる。	（予習）テキスト第5章B-9～11（肝炎、肝硬変、脂肪肝、NAFLD、NASH）を確認すること。 （復習）復習テスト・学期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
12	○内分泌疾患1 視床下部・下垂体疾患（先端巨大症、プロラクチノーマ、尿崩症、SIADH）および副甲状腺機能亢進症・低下症の成因・病態・診断・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説（遠隔の場合はgoogle forms） ディスカッション 予習・復習テストと解説（google forms）	先端巨大症、プロラクチノーマ、尿崩症、SIADH、副甲状腺機能亢進症・低下症にかかわるホルモンの作用と病態について説明できる。	（予習）テキスト第8章A, B-3, 4（先端巨大症、プロラクチノーマ、尿崩症、SIADH、副甲状腺機能亢進症・低下症）を確認すること。 （復習）復習テスト・学期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
13	○内分泌疾患2 甲状腺疾患（甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症）の成因・病態・診断・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説（遠隔の場合はgoogle forms） ディスカッション 予習・復習テストと解説（google forms）	甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症にかかわるホルモンの作用と病態について説明できる。	（予習）テキスト第8章B-1（甲状腺機能亢進症・甲状腺機能低下症）を確認すること。 （復習）復習テスト・学期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
14	○内分泌疾患3 副腎疾患（アルドステロン症、褐色細胞腫）の成因・病態・診断・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説（遠隔の場合はgoogle forms） ディスカッション 予習・復習テストと解説（google forms）	アルドステロン症と褐色細胞腫にかかわるホルモンの作用と主な症状について説明できる。	（予習）テキスト第8章B-2（原発性アルドステロン症、褐色細胞腫）を確認すること。 （復習）復習テスト・学期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
15	○内分泌疾患4 副腎疾患（クッシング症候群、アジソン病、先天性副腎過形成症）の成因・病態・診断・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説（遠隔の場合はgoogle forms） ディスカッション 予習・復習テストと解説（google forms）	クッシング症候群（クッシング病、医原性クッシング症候群）、アジソン病、先天性副腎過形成症にかかわるホルモンの作用と病態について説明できる。	（予習）テキスト第8章B-2（クッシング症候群、アジソン病）を確認すること。 （復習）復習テスト・学期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
220332042	臨床医学Ⅲ Clinical Medicine Part III	服部悟	✓	専門	2	選択	3後期
科目の概要							
管理栄養士の主な業務の一つとして傷病者に対する栄養の指導がある。DP2にあるように、医療・介護をはじめとした様々な領域における栄養管理をするために、管理栄養士にとって重要な疾患（血液系疾患、腎・尿路系疾患、免疫・アレルギー系疾患、感染症、生殖器系疾患、悪性腫瘍）の疾病概念、成因、病態、診断、治療などを理解する。この授業では、栄養士に必要な科学的根拠に基づいて判断する能力と自己学習能力とを身に付ける。併せて、建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力を習得して、職場と地域の人々と協働して課題を解決していくことができ、自立した社会人として常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献することができる力を育成することを目的とする。							
学修内容				到達目標			
① 主要疾患の疾病概念と成因（原因）を理解する。 ② 主要疾患の病態（自覚症状、他覚症状等）と診断を理解する。 ③ 主要疾患の治療方法を、栄養に重点を置いて理解する。				① 主要疾患の疾病概念と成因（原因）を説明できる。 ② 主要疾患の病態（自覚症状、他覚症状等）と診断を説明できる。 ③ 主要疾患の治療方法を、栄養に重点を置いて説明できるとともに知識を活用して新しい方法を提案できる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	関連科目である解剖学や生理学、生化学について、事前学習（復習）をする。					
	働きかけ力						
	実行力	主要疾患（約200）の疾患名と疾病概念の記憶に取り組むことができる。予習と復習で、能率よく自己学習を進めることができる。					
考え抜く力	課題発見力	疾患を学習することで、傷病者に対する栄養指導課題を見つけ出すことができる。					
	計画力						
	創造力	インターネットなどで流布されている医療情報を確認し、信頼性を自分で判断できる。					
チームで働く力	発信力	教員からの質問に、はっきりと大きな声で答えることができる。与えられた課題を、わかりやすい内容にまとめて提出できる。					
	傾聴力	講義内容や相手の意見を丁寧に聞き取り、自分の意見を述べることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、私語、居眠りなど講義に支障をきたす行動をせず、ルールを守ることができる。遠隔講義の時間割に従って、学修ができる。提出物の締切時間を守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：羽生大記・河手久弥編、臨床医学-人体の構造と機能及び疾病の成り立ち（南江堂）3,100円（＋税） 関連する資料および復習問題のプリントを適宜配布する。							
他科目との関連、資格との関連							
臨床医学I・IIの学修を基盤として、臨床医学IIIを学ぶ。管理栄養士特論A・B・C、および卒業研究に繋がる。 資格との関連：管理栄養士							
学修上の助言				受講生とのルール			
①解剖学、生理学、生化学の知識は疾病を理解するうえでも必須である。それらを十分理解して授業に臨むとよい。 ②毎週の小テストが50%以下の正答率の場合は、すぐに復習を行うとよい。				①帯電話の電源は切り、カバンにしまっておくこと。 ②テキストと配布したプリントは、毎時間持参する。 ③赤鉛筆または赤ボールペンを持参すること。 ④遠隔講義では、時間割や提出物の期限を守る。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	80	①	✓	主要疾患の疾病概念、成因、病態、治療等について理解し、栄養との関係を説明できる。 授業で学んだ内容の理解度を、客観式テストにより評価する。 知識の獲得：（疾患の病因・病態など）50%、 知識の活用：（疾患に伴う症状・検査所見・治療法など）30%、 知識の解決：（疾患に伴う生活への影響、栄養上の対処方法など）20% 以上の内容の筆記試験で60%以上の得点を合格とする。	
			②	✓		
			③	✓		
	平常評価	小テスト	10	①	✓	毎週の小テストは、授業中または終了時に、授業内容について客観式確認テストを行う。 以上により、主要疾患の疾病概念、成因、病態、治療等の基本的用語を理解できているか確認する
				②	✓	
				③	✓	
		レポート	0	①		
				②		
③						
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①				
		②				
		③				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）自ら知識を深める姿勢・行動がみられること （実行力）自己の学修目標を設定してその達成に努力すること。 （課題発見力）傷病者に対する栄養指導課題を見つけ出すこと。 （計画力）予習・復習で能率的に自己学習ができること。 （創造力）インターネットなどで流布されている医療情報を確認し、信頼性を自分で判断できること。 （発信力）教員からの質問に、はっきりと大きな声で答えることができること。 （傾聴力）授業に集中し、内容を理解し、要点を記録できること。 （規律性）教室でのマナーを守り、質の高い学びの場にできる。	
			②	✓		
			③	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①主要疾患の疾病概念、成因、病態、治療等について正しく理解し説明できること。 ②主要疾患の疾病者に対する栄養指導との関係を説明できること。 S(秀) = ①+②、A(優) = ①または②	①主要疾患の疾病概念を説明できること。 ②主要疾患の成因、病態、治療等の基本的用語を記述でき説明できること。 B(良) = ①+②、C(可) = ①

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	○血液系疾患1 貧血(鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、再生不良性貧血、溶血性貧血、腎性貧血)の成因・病態・診断・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説(遠隔の場合はgoogle forms) ディスカッション 予習・復習テストと解説(google forms)	鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、再生不良性貧血、溶血性貧血、腎性貧血の成因を説明できる。	(予習) テキスト第13章A、B-1(貧血)を確認すること。 (復習) 復習テスト・前期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
2	○血液系疾患2 特発性血小板減少性紫斑病(ITP)、播種性血管内凝固症候群(DIC)、血友病の成因・病態・診断・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説(遠隔の場合はgoogle forms) ディスカッション 予習・復習テストと解説(google forms)	特発性血小板減少性紫斑病(ITP)、播種性血管内凝固症候群(DIC)、血友病の病態について説明できる。	(予習) テキスト第13章B-2(出血性疾患)を確認すること。 (復習) 復習テスト・前期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
3	○血液系疾患3 急性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群の成因・病態・診断・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説(遠隔の場合はgoogle forms) ディスカッション 予習・復習テストと解説(google forms)	急性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群の病態について説明できる。	(予習) テキスト第13章B-3(白血病)を確認すること。 (復習) 復習テスト・前期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
4	○腎・尿路系疾患1 急性・慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群の成因・病態・診断・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説(遠隔の場合はgoogle forms) ディスカッション 予習・復習テストと解説(google forms)	急性・慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群の病態について説明できる。	(予習) テキスト第7章A、B-1、2(急性・慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群)を確認すること。 (復習) 復習テスト・前期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
5	○腎・尿路系疾患2 急性・慢性腎不全の成因・病態・診断・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説(遠隔の場合はgoogle forms) ディスカッション 予習・復習テストと解説(google forms)	急性・慢性腎不全の病態について説明できる。	(予習) テキスト第7章B-3(急性・慢性腎不全)を確認すること。 (復習) 復習テスト・前期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
6	○腎・尿路系疾患3 慢性腎臓病(CKD)の成因・病態・診断・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説(遠隔の場合はgoogle forms) ディスカッション 予習・復習テストと解説(google forms)	急性・慢性腎不全、慢性腎臓病(CKD)の病態について説明できる。	(予習) テキスト第7章B-5(CKD(慢性腎臓病))を確認すること。 (復習) 復習テスト・前期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
7	腎・尿路系疾患4 透析の原理、導入基準、合併症を理解する。尿路結石の成因・病態・診断・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説(遠隔の場合はgoogle forms) ディスカッション 予習・復習テストと解説(google forms)	血液透析と腹膜透析の原理について説明できる。尿路結石の病態について説明できる。	(予習) テキスト第7章B-6、7(尿路結石症、血液透析、腹膜透析)を確認すること。 (復習) 復習テスト・前期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
8	○免疫・アレルギー疾患1 アレルギー反応、食物アレルギーの成因・病態・診断・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説(遠隔の場合はgoogle forms) ディスカッション 予習・復習テストと解説(google forms)	アレルギー反応を4分類できる。食物アレルギーの病態、治療について説明できる。食物依存性運動誘発アナフィラキシー、口腔アレルギー症候群の病態について説明できる。	(予習) テキスト第14章A、B-1、2(アレルギー反応、アレルギー疾患)を確認すること。 (復習) 復習テスト・前期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	○免疫・アレルギー疾患2 膠原病、自己免疫性疾患、免疫不全の成因・病態・診断・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説(遠隔の場合はgoogle forms) ディスカッション 予習・復習テストと解説(google forms)	橋本病、バセドウ病、関節リウマチ、全身性エリマトーシス、強皮症、シェーグレン症候群の病態について説明できる。	(予習) テキスト第14章B-3,4(膠原病、自己免疫性疾患、免疫不全)を確認すること。 (復習) 復習テスト・前期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
10	○感染症:総論 感染症の成因・病態・診断・治療の概要を理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説(遠隔の場合はgoogle forms) ディスカッション 予習・復習テストと解説(google forms)	病原体の分類、感染の成立、人獣共通感染症、性行為感染症、日和見感染と院内感染、新興感染症と再興感染症、化学療法、薬剤耐性について説明できる。	(予習) テキスト第15章A(7以外)(感染症の成因・病態・診断・治療)を確認すること。 (復習) 復習テスト・前期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
11	○感染症:各論 代表的な感染症の成因・病態・診断・治療の概要を理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説(遠隔の場合はgoogle forms) ディスカッション 予習・復習テストと解説(google forms)	主要な感染症(インフルエンザ、麻疹、風疹、結核、コレラ、水痘、手足口病、ノロウイルス)について説明できる。	(予習) テキスト第15章A-7 C(感染症各論)を確認すること。 (復習) 復習テスト・前期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
12	○生殖系疾患1 妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、妊娠悪阻の成因・病態・診断・治療について理解する。 子宮筋腫、子宮内膜症、更年期障害の病態を理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説(遠隔の場合はgoogle forms) ディスカッション 予習・復習テストと解説(google forms)	妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、妊娠悪阻、子宮筋腫、子宮内膜症、更年期障害の病態について説明できる。	(予習) テキスト第12章A, B, C(妊娠と分娩・妊娠合併症、女性生殖器疾患)を確認すること。 (復習) 復習テスト・前期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
13	○生殖系疾患2 子宮頸がん、子宮体がん、乳がん、前立腺がん、前立腺肥大症の病態・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説(遠隔の場合はgoogle forms) ディスカッション 予習・復習テストと解説(google forms)	子宮頸がん、子宮体がん、乳がん、前立腺がん、前立腺肥大症の病態について説明できる。	(予習) テキスト第16章A-6~8(子宮頸がん、子宮体がん、乳がん、前立腺がん)、第12章D(前立腺肥大症)を確認すること。 (復習) 復習テスト・前期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
14	○悪性腫瘍1 食道がん、胃がん、大腸がんの成因・病態・診断・治療の概要を理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説(遠隔の場合はgoogle forms) ディスカッション 予習・復習テストと解説(google forms)	食道がん、胃がん、大腸がんの病態について説明できる。	(予習) テキスト第16章A-1~3(食道がん、胃がん、大腸がん)を確認すること。 (復習) 復習テスト・前期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
15	○悪性腫瘍2 肝臓がん、膵がん、肺がん、甲状腺がんの成因・病態・診断・治療の概要を理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説(遠隔の場合はgoogle forms) ディスカッション 予習・復習テストと解説(google forms)	肝臓がん、膵がん、肺がん、甲状腺がんの病態について説明できる。	(予習) テキスト第16章A-4, 5, 9(肝臓がん、膵がん、肺がん、甲状腺がん)を確認すること。 (復習) 復習テスト・前期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力